

我が国における地域枠医学生・医師のキャリア形成プログラム等に関する調査

研究分担者 岡崎 研太郎 名古屋大学大学院医学系研究科地域医療教育学講座 特任准教授

研究要旨

医師確保計画を踏まえた効果的な医師偏在対策を推進する上では、地域枠学生・医師が適用を受けるキャリア形成プログラムの充実・魅力化が大きな課題である。このため、地域医療や地域枠制度、各都道府県が策定しているキャリア形成プログラムに対する地域枠学生・医師の意識や満足度を明らかにすることを目的として、オンライン質問紙調査を実施した。調査対象者は全国の地域枠学生・医師に加え、自治医大学生・卒業医師、全国9大学の一般枠学生とした。一般枠学生、地域枠学生、自治医大学生の間での相違点と地域枠医師・自治医大卒業医師の間での相違点が明らかになったので、主要な点を速報として記す

A. 研究目的

医学部入学定員臨時増員計画は2008年度に始まり、恒久定員外の地域枠は、2020年度に全国65大学で863人に達している（9.2%、医学部定員9330人中）。この地域枠学生は、卒業後には地域枠医師として各都道府県で医師の少ない地域に派遣され、一定の年数をその地域の医療機関に勤務することとなっている。医師少数区域における医師の確保と医師不足地域に派遣される医師の能力開発・向上の機会の確保の両立を目的として2018年7月に改正された医療法に基づき、各都道府県は地域枠医師等のキャリア形成プログラムを策定することとなった。地域枠学生・医師は卒業後のキャリア形成にあたり、都道府県が提供するキャリア形成プログラムの適用を受けることになっている。

医師確保計画を踏まえた効果的な医師偏在対策を推進する上で、このキャリア形成プログラムの充実・魅力化が大きな課題となっており、国の医療従事者の需給に関する検討会医師需給分科会でも活発な議論が進められている。

本研究班では、昨年度、地域枠医師のキャリア形成プログラムの全国調査を実施し、そのプログラムを都道府県別に比較検討し、類型化した。

しかし、これらのキャリア形成プログラムが実際にどのように運用されているのかは明らかにされておらず、地域枠医学生・医師がキャリア形成についてどのように考え、地域枠医師がキャリア形成プログラムのどの部分にどの程度満足しているかについても、これまでほとんど報告されていない。

そこで、本年度は、地域枠医学生・医師の

地域枠制度やキャリア形成、キャリア形成プログラムへの意識や満足度を明らかにすることを目的として無記名のオンライン質問紙調査を実施した。

B. 研究方法

オンライン質問紙調査は、2022年2月から3月にかけて実施した。調査対象は、全47都道府県の地域枠医学生・医師のうち、各都道府県の医師確保計画担当課担当者が把握しているもの、約11,000人とした。さらに、地域枠医学生の対照群として、自治医科大学学生と全国9大学医学部（秋田大学、新潟大学、名古屋大学、岡山大学、広島大学、高知大学、長崎大学、佐賀大学、鹿児島大学）の一般枠（地域枠ではない）学生、約5,000人を加えた。

地域枠医師については、地域枠で入学し卒業した者と定義し、対照群として義務年限内の自治医科大学卒業医師を加えた。除外基準は、地域枠制度離脱者、連絡の取れない者、研究参加に同意が得られない者とした。

地域枠医学生・医師と自治医大卒業医師については、2022年2月に47都道府県の医師確保計画担当課に調査依頼を行い、担当者から調査対象者にEmailで研究説明書と依頼文書（質問紙のQRコードおよびURLリンク付き）を送付した。

自治医大学生と全国9大学医学部生については、2022年2月に各大学の担当者に調査依頼を行い、担当者から調査対象者に

Emailで研究説明書と依頼文書（質問紙のQRコードおよびURLリンク付き）を送付した。

オンライン質問紙「医学生/医師のキャリア形成と地域医療に関するアンケート」の内容のうち、全員に共通の項目は、出身の都道府県、性別、婚姻状況、家族構成（子どもの有無）、開業医子弟、将来の診療科、現都道府県に長期勤務する意思、キャリア形成について（21項目）、地域医療について（自由記載）とした。加えて、地域枠医学生・医師（自治医大学生と卒業医師を含む）に対しては、地域枠の都道府県、地域枠制度やキャリア形成プログラムについて（14項目）、キャリア形成プログラムへの満足度（8項目）、地域枠制度やキャリア形成プログラムについての自由記載（6項目）を尋ねた。また、地域枠医師（自治医大卒業医師を含む）には、勤務先、卒業後の年次、研修環境、地域赴任、地域勤務開始年次、地域勤務予定年数を、学生には学年を尋ねた。本オンライン質問紙の詳細を別添1に示す。

（倫理的配慮）

本調査の実施に当たっては、名古屋大学生命倫理審査委員会の審査・承認を得て実施した。（承認番号2021-0491）

C. 研究結果

（1）回答者

全国47都道府県中、29都道府県から研究参加への同意を得た。長崎県だけは、Emailではなく郵送法で対象者へ研究説明書と依

頼文書を送付した。

オンラインアンケートに回答したのは、1,746人（医学生1,307人、医師439人）であった。このうち属性が明らかなのは、医学生1,241人（一般枠学生419人、地域枠学生689人、自治医大学生133人）、医師412人（地域枠医師297人、自治医大卒医師115人）の計1,653人であった。

（2）学生について

① 属性について

一般枠学生419人、地域枠学生689人、自治医大学生133人、未回答15人であった（回答数1,256）。

学年は、1年生263人、2年生245人、3年生211人、4年生198人、5年生205人、6年生134人であった。

出身の都道府県は全47都道府県に分布し、回答人数が最も多かったのは長崎県83、以下、東京都79、広島県76、愛知県66、兵庫県62、神奈川県57、岡山県57人（以下略）の順であった。逆に最も少なかったのは山梨県1、福井県1で、石川県3、三重県3、徳島県4、沖縄県5（以下略）の順であった

性別は、男性651人（52%）、女性588人（47%）、その他・未回答17人（1%）であった。一般枠学生における男性の割合は59%で、地域枠学生における男性の割合48%に比べて高かった。

家族構成は、既婚26人（2%）で、子供がいるのは7人（1%）であった。

実家やパートナー（配偶者等）の家が開業医であるのは111人（9%）であった。一般

枠学生では11%、地域枠学生では8%、自治医大学生では5%で、一般枠学生では自治医大学生に比べて割合が高かった。

② 将来の希望診療科と希望勤務地

将来進みたい診療科は、内科622人（51%）、総合診療科405人（33%）、小児科369人（30%）、外科248人（20%）、救急科242人（20%）、産婦人科225人（18%）の順であった（複数回答可）。一般枠学生では皮膚科（10%）、外科（25%）、放射線科（7%）、麻酔科（15%）、病理（6%）、形成外科（7%）で地域枠学生や自治医大学生よりも希望率が高かった。地域枠学生では、小児科（34%）で一般枠学生（23%）よりも希望率が高かった。自治医大学生は、内科の希望率（60%）が地域枠学生（50%）や一般枠学生（49%）よりも高く、総合診療科の希望率は自治医大学生（50%）>地域枠学生（37%）>一般枠学生（20%）の順であった。

Q10 将来進みたい診療科は（複数回答可）



将来的にも今いる都道府県で長く勤務するつもりであるのは、730人（58%）であった。地域枠学生（78%）が最も高く、自治医大学生（53%）、一般枠学生（26%）の順であった。

③ キャリア形成について

今の学生生活に満足している者は、地域枠学生で 62%、一般枠学生で 50%、自治医大学生で 47%であった。

大学医局に入局するつもりであるのは、一般枠学生で 35%、地域枠学生で 40%、自治医大卒業生で 15%であった。

大学の医局長や教授などと定期的に面談する機会が年 1 回以上あるのは、一般枠学生で 39%、地域枠学生で 41%、自治医大学生で 21%であった。

総合診療や家庭医療に興味があると答えた者は、自治医大学生で 63%と高く、地域枠学生で 55%、一般枠学生では 34%であった。

いずれ専門医を取得しようと思っているのは、一般枠学生の 86%、地域枠学生の 89%、自治医大学生の 85%に上った。取得しようと思っている専門医として、一般枠学生では、内科 (48%)、外科 (25%)、小児科 (20%)、総合診療科 (17%) の順に多く、地域枠学生では内科 (50%)、総合診療科 (35%)、小児科 (29%)、救急科 (18%)、産婦人科 (17%)、外科 (17%) の順に多く、自治医大学生では内科 (64%)、総合診療科 (48%)、小児科 (21%)、産婦人科 (15%)、外科 (14%)、整形外科 (11%)、救急科 (11%) の順であった。

いずれ博士号 (学位) を取得しようと思っているのは、一般枠学生の 30%、地域枠学生の 19%、自治医大学生の 17%であった。

いずれ国内留学をしようと思っているのは一般枠学生の 23%、地域枠学生の 18%、自治医大学生の 11%で、そのタイミングは一般枠学生では 20 代が最多であったが、地域枠学生と自治医大学生では 30 代が最多であった。

いずれ海外留学をしようと思っているのは一般枠学生の 29%、地域枠学生の 22%、自治医大学生の 20%で、そのタイミングは一般枠学生では 20 代が最多であったが、地域枠学生と自治医大学生では 30 代が最多であった。

いずれ開業しようと思っているのは一般枠学生の 16%、地域枠学生の 19%、自治医大学生の 11%であった。

結婚や結婚のタイミングについて悩んでいるのは一般枠学生の 47%、地域枠学生の 53%、自治医大学生の 51%で、自分やパートナー (配偶者) の出産について悩んでいるのは一般枠学生の 33%、地域枠学生の 37%、自治医大学生の 41%であった。

キャリア形成で重視することは、一般枠学生では、指導医の存在、専門医の取得、研修・研究・留学などの十分な期間の用意、給与の順であった。地域枠学生では、指導医の存在、専門医の取得、地域で勤務する年数、地域で勤務するタイミング、給与、の順であった。自治医大学生では、指導医の存在、地域で勤務する年数、給与、専門医の取得、の順であった。

Q32 取得しようと思っている専門医がある方は、以下のうちのどの専門医を取得しようと思っているのか、チェックをつけてください (複数回答可)



④ 大学や都道府県の地域枠制度やキャリア形成プログラム

地域枠医学生であることに満足しているのは、地域枠学生 71%、自治医大学生 61%であった。

医学部志望の高校生に地域枠（自治医大）を勧めたいと答えたのは、地域枠学生の 45%、自治医大学生の 39%であった。

学生時代の地域枠向けに提供された教育や活動に満足しているのは、地域枠学生では 44%であったが、自治医大学生では 54%に上った。

都道府県や地域医療支援センターの担当者と年に 1 回以上定期的に面談する機会があるのは地域枠学生 51%、自治医大学生 46%であった。

大学の地域枠担当教員と定期的に面談する機会が年に 1 回以上あるのは、地域枠学生では 53%であったが、自治医大学生では 31%にとどまった。

義務年限を最後まで終了するつもりがあるのは地域枠学生では 91%、自治医大学生では 95%に上った。

従事する診療科の制限については、地域枠学生では、「診療科の制限はなく、選択した診療科の医師として勤務する」と答えた者が 39%と最多であり、自治医大学生では、「診療科に一定の制限があるが、それ以外の診療科において研鑽を積む機会がある」と答えた者が 29%と最多であった。

キャリア形成プログラムの存在を知っているのは、地域枠学生の 69%、自治医大学生の 41%であったが、キャリア形成プログラム

の詳細について情報提供を受けているのは、地域枠卒業生の 58%、自治医大卒業生の 29%にとどまった。

「キャリア形成プログラムの内容は、義務とキャリアのバランスがきちんをとれたものになっておると思う」と答えたのは地域枠学生の 44%、自治医大学生の 23%に過ぎず、

「キャリア形成プログラムを後輩にも勧めたい」と答えたのは地域枠学生で 38%、自治医大学生で 22%であった。

これまでに修学資金を返還しようと思ったことがあるのは、地域枠学生の 13%、自治医大学生の 14%であった。

地域枠等入学に課せられた義務の離脱は社会的・道義的に問題だと思うと答えたのは、地域枠学生の 40%、自治医大学生の 41%であった。

将来的に義務を離脱する可能性があるかと答えたのは、地域枠学生の 6%、自治医大学生の 2%であった。

キャリア形成プログラムへの満足度は、地域枠学生では、「地域で勤務するタイミング」と「専門医の取得」で満足度が高く、自治医大学生では、「給与」で満足度が高かった。

反対に満足度が低かったのは、地域枠学生では、「パートナーの意向」と「研修、研究、留学などの中断期間の十分な用意」で、自治医大学生では、「研修、研究、留学などの中断期間の十分な用意」、「パートナーの意向」、「専門医の取得」、であった。

キャリア形成プログラムの総合評価（10点満点）は、地域枠学生で平均 6.3 点、自治医大学生も同じく平均 6.3 点であった。

(3) 卒業生（医師）について

① 属性について

地域卒卒業生 297 人（71%）、自治医大卒業生 115 人（28%）、未回答 4 人（1%）の 416 人であった。

卒業後の年数は、卒後 1 年目 57 人（14%）、2 年目 61 人（15%）、3 年目 55 人（13%）、4 年目 58 人（14%）、5 年目 52 人（13%）、6 年目 42 人（10%）、7 年目 44 人（11%）、8 年目 30 人（7%）、9 年目以上 17 人（4%）であった。

現在の勤務先は、200 床以上の病院が 195 人（47%）と最多で、大学病院 137 人（33%）、200 床未満の病院 53 人（13%）、診療所 25 人（6%）の順であった。地域卒卒業生は 200 床以上の病院（51% vs 38%）や大学病院で働く者（39% vs 14%）の割合が自治医大卒業生よりも高く、一方、自治医大卒業生は、200 床未満の病院（27% vs 7%）や診療所（17% vs 2%）で働く者の割合が地域卒卒業生よりも多かった。

勤務先の場所は、地方都市およびその近郊が 267 人（64%）と最多で、へき地や離島が 77 人（19%）、大都市およびその近郊が 70 人（17%）であった。地域卒卒業生は自治医大卒業生に比べて地方都市およびその近郊で働く者の割合が高く（69% vs 50%）、へき地や離島で働く者の割合が低かった（11% vs 38%）

出身の都道府県は、東京都 34 人、岩手県 28 人、兵庫県 22、和歌山県 22 人、茨城県 20 人、神奈川県 20 人の順に多く、青森県、山形県、福島県、群馬県、福井県、山梨県、

静岡県、三重県、鳥取県、島根県、山口県、徳島県、高知県、宮崎県は 0 人であった。

性別は男性 254 人（61%）、女性 153 人（37%）、その他・未回答 9 人（2%）であった。

家族構成は、既婚 217 人（52%）で、子供がいるのは 130 人（31%）であった。既婚者の割合（68% vs 46%）、子供がいる割合（43% vs 26%）ともに、自治医大卒業生が地域卒卒業生に比べて高かった。

実家やパートナー（配偶者等）の家が開業医であるのは 35 人（8%）であった。

② 将来の希望診療科と希望勤務地

将来進みたい診療科は、内科 143 人（35%）、小児科 47 人（12%）、外科 43 人（11%）、産婦人科 42 人（10%）、総合診療科 39 人（10%）、救急科 36 人（9%）の順であった（複数回答可）。地域卒卒業生では精神科希望率が自治医大卒業生よりも高く（4% vs 0%）、自治医大卒業生では内科（49% vs 30%）と総合診療科（18% vs 6%）の希望率が地域卒卒業生よりも高かった。

Q21 将来進みたい診療科は（複数回答可）



将来的にも今いる都道府県で長く勤務するつもりであるのは、292 人（70%）であったが、地域卒卒業生のほうが自治医大卒業生よりも高かった（74% vs 60%）。

③ キャリア形成について

現在の研修環境に満足しているのは 256

結婚や結婚のタイミングについて悩んでいるのは地域枠卒業生の26%、自治医大卒業生の16%で、自分やパートナー（配偶者）の出産について悩んでいるのは地域枠卒業生の36%、自治医大卒業生の32%であった。

キャリア形成で重視することは、地域枠卒業生では、専門医の取得、指導医の存在、給与、地域で勤務する年数、研修・研究・留学などの十分な期間の用意、地域で勤務するタイミング、パートナーの意向、の順であった。自治医大卒業生では、指導医の存在、専門医の取得、研修・研究・留学などの十分な期間の用意、給与、地域で勤務する年数、パートナーの意向、地域で勤務するタイミング、の順であった。

④ 大学や都道府県の地域枠制度やキャリア形成プログラム

地域枠医師であることに満足しているのは、地域枠卒業生、自治医大卒業生とも50%であった。

医学部志望の高校生に地域枠（自治医大）を勧めたいと答えたのは、地域枠卒業生の25%、自治医大卒業生の31%であった。

学生時代の地域枠向けに提供された教育や活動に満足しているのは、地域枠卒業生では24%であったが、自治医大卒業生では56%に上った。

都道府県や地域医療支援センターの担当者と年に1回以上定期的に面談する機会があるのは地域枠卒業生の71%、自治医大卒業生の86%であった。

大学の地域枠担当教員と定期的に面談す

る機会が年に1回以上あるのは、地域枠卒業生では52%であったが、自治医大卒業生では24%にとどまった。

義務年限を最後まで終了するつもりがあるのは地域枠卒業生では89%、自治医大卒業生では96%に上った。

従事する診療科の制限については、地域枠卒業生では、「診療科の制限はなく、選択した診療科の医師として勤務する」と答えた者が47%と最多であり、自治医大卒業生では、「診療科に一定の制限があるが、それ以外の診療科において研鑽を積む機会がある」と答えた者が49%と最多であった。

キャリア形成プログラムの存在を知っているのは、地域枠卒業生の59%、自治医大卒業生の50%であったが、キャリア形成プログラムの詳細について情報提供を受けているのは、地域枠卒業生の48%、自治医大卒業生の35%にとどまった。

「キャリア形成プログラムの内容は、義務とキャリアのバランスがきちんをとれたものになっておると思う」と答えたのは地域枠卒業生の30%、自治医大卒業生の17%に過ぎず、「キャリア形成プログラムを後輩にも勧めたい」と答えたのは地域枠卒業生で24%、自治医大卒業生で20%であった。

これまでに修学資金を返還しようと思ったことがあるのは、地域枠卒業生の28%、自治医大卒業生の28%であった。

地域枠等入学に課せられた義務の離脱は社会的・道義的に問題だと思ふと答えたのは、地域枠卒業生の37%、自治医大卒業生の29%であった。

将来的に義務を離脱する可能性があるとして答えたのは、地域卒卒業生の10%、自治医大卒業生の5%であった。

キャリア形成プログラムへの満足度は、地域卒卒業生では、「専門医の取得」と「給与」で満足度が高く、自治医大卒業生では、「給与」で満足度が高かった。反対に満足度が低かったのは、地域卒卒業生では、「研修、研究、留学などの中断期間の十分な用意」と「地域で勤務する年数」で、自治医大卒業生では、「研修、研究、留学などの中断期間の十分な用意」、「専門医の取得」、「地域で勤務する年数」「指導医の存在」であった。

キャリア形成プログラムの総合評価（10点満点）は、地域卒卒業生で平均6.0点、自治医大卒業生で平均5.5点であった。

D. 考察

（1）キャリア形成について

① 診療科

将来の希望診療科においては、地域卒学生、自治医大学生ともに内科や総合診療科を挙げるものが多かった。ただ、学生と卒業生の比較において、内科は地域卒で50%→30%、自治医大で60%→49%と比較的保たれているのに対し、総合診療科は地域卒で37%→6%、自治医大で50%→18%と激減していた。

これは、取得しようと思う専門医の設問でも同様の結果であった。学生と卒業生の比較において、内科は地域卒で50%→30%、自治医大で64%→63%と比較的保たれる一方で、総合診療科は地域卒で35%→7%、自治医大

で48%→16%と激減することがわかった。小児科も、地域卒で29%→12%、自治医大で21%→11%と大きく減ることが判明した。

地域では患者を全人的に診ることのできる総合診療医や小児科医のニーズが高いとされており、将来的に総合診療科や小児科を考えている地域卒・自治医大学生の興味を育むような学部教育プログラムの充実と工夫が必要であると思われた。

② キャリア形成で重視すること

キャリア形成で重視することとして、学生は地域卒、自治医大ともに指導医の存在と専門医の取得、地域で勤務する年数、を最も重視する傾向にあることが明らかとなった。卒業生も、地域卒、自治医大ともに指導医の存在と専門医の取得を最重視していた。この結果から、地域卒・自治医大の学生・卒業生は、強い専門医志向を持ち、その実現のために指導医の存在を必要としていることが読み取れる。

（2）地域卒制度について

地域卒医学生であることに満足しているのは、地域卒で71%、自治医大で61%であったが、卒業生では地域卒医師であることに満足している割合が地域卒、自治医大ともに50%へと低下していた。医学部志望の高校生に地域卒（自治医大）を勧めたいと答えた者の割合も、地域卒では39%→31%へ、自治医大で45%→25%へと卒業後に低下することが明らかとなった。この理由、すなわち地域卒であることへの不満については、今後、質問紙の自由記載欄への回答を分析すること

で明らかになる可能性がある。

3) キャリア形成プログラム

① キャリア形成プログラムへの認識

キャリア形成プログラムは、地域枠学生の69%、自治医大学生の41%が卒業生では地域枠59%、自治医大50%が存在を認識していた。ただ、プログラムの詳細について情報提供を受けているのは、地域枠学生/卒業生で58%/48%、自治医大学生/卒業生で29%/35%にとどまっていた。都道府県や大学から繰り返し情報提供がなされているにもかかわらず、学生/卒業生に必要な情報が十分に理解されていないという現状が明らかになった。

② キャリア形成プログラムへの満足度

キャリア形成プログラムの内容において義務とキャリアのバランスを評価した者は地域枠学生/卒業生で44%/30%、自治医大学生/卒業生で23%/17%と少なく、後輩にも勧めたいと答えた者は地域枠学生/卒業生で38%/24%、自治医大学生/卒業生で22%/20%に過ぎなかった。

キャリア形成プログラムへの満足度は、地域枠学生では「地域で勤務するタイミング」と「専門医の取得」で高く、地域枠卒業生では「専門医の取得」と「給与」で高かった。自治医大学生・卒業生ともに「給与」で高かった。反対に満足度が低かったのは、地域枠学生と卒業生では「研修、研究、留学などの中断期間の十分な用意」で、自治医大学生と卒業生では「研修、研究、留学などの中断期間の十分な用意」と「専門医の取得」であった。

地域枠/自治医大の学生・卒業生は、個別の学生/卒業生の意向に沿った柔軟なプログラム運用を希望していることが読み取れる。都道府県と大学が協働することによって、そのような運用の工夫が実行されたならば、現状のキャリア形成プログラムへの総合評価(10点満点で地域枠学生/卒業生は6.3点/5.5点、自治医大学生/卒業生は6.3点/5.5点)も上昇していくことが期待できる。

(4) 義務離脱について

30%-40%の地域枠/自治医大の学生/卒業生は、義務離脱は社会的・道義的に問題だと思いと回答した。しかし、これまでに修学資金の返還を考えたことがあるのは、地域枠学生/卒業生で13%/28%、自治医大学生/卒業生で14%/28%と決して少なくないことが判明した。また、将来的に義務を離脱する可能性があると回答した者は、地域枠学生/卒業生で6%/10%、自治医大学生/卒業生で2%/5%であった。

義務離脱の問題については、都道府県も大学もその重要性を十分に認識していると思われ、離脱予備軍の早期発見と対話等を通じた適切な対応に注力している。都道府県や大学間での情報共有に加えて、国レベルでの追加の対策の必要性についてもさらなる議論が必要であると思われる。

E. 結論

全国の地域枠と自治医大の学生・卒業生を

対象とした無記名オンライン調査の結果、地域枠制度やキャリア形成、キャリア形成プログラムへの認識と満足度が明らかになった。今後は、認識や満足度に影響を与えるような属性に関する分析をおこなうとともに、自由記載欄への回答を質的に分析し、認識や満足度の背景要因を明らかにしていく予定である。

F. 研究発表

該当無し

G. 知的財産権の出願・登録状況

該当無し

医学生/医師のキャリア形成と地域医療に関するアンケート

調査の説明

ご協力ありがとうございます。

本調査は、厚生労働科学研究班（医師確保計画を踏まえた効果的な医師偏在対策の推進についての政策研究）の一環として、いくつかの大学医学部の一般枠学生、全国の地域枠学生/卒業生、自治医大学生/卒業生のみなさんを対象に実施するものです。

本調査は4つのパートから成り立っており、パート1とパート2は全員にお答えいただきます。パート3とパート4については、地域枠学生/卒業生の方と、自治医大学生/卒業生の方のみご回答ください。所要時間は約10分です。

なお、自治医大学生/卒業生の方は、「地域枠学生/卒業生」の部分を「自治医大学生/卒業生」と読み替えて回答してください。

以下の「本調査に参加することに同意する」のボックスへのチェックをもって、同意いただいたものといたします。

ご質問等ございましたら、名古屋大学地域医療教育学講座までご連絡ください。（mail: ecom@med.nagoya-u.ac.jp）

よろしく願いいたします。

* 本調査に参加することに同意する

はい

【パート1】 まず、統計的処理のための質問をいたします

* 医学生ですか、医師ですか？

医学生

医師

医学生/医師のキャリア形成と地域医療に関するアンケート

【パート1】統計的処理のための質問（医学生）

医学生の方への質問です

* 何年生ですか

* あなたは一般枠学生ですか、地域枠学生ですか、自治医大学生ですか

- 一般枠学生
- 地域枠学生
- 自治医大学生
- 未回答

* 出身の都道府県は

* 性別は

- 男性
- 女性
- その他
- 未回答

* 家族は

- 既婚
- 未婚
- その他
- 未回答

* 子どもは

- いる
- いない
- 未回答

* 実家やパートナー（配偶者等）の家が開業医である

- 開業医である
- そうではない
- 未回答

将来進みたい診療科は（複数回答可）

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 内科 | <input type="checkbox"/> 脳神経外科 |
| <input type="checkbox"/> 小児科 | <input type="checkbox"/> 放射線科 |
| <input type="checkbox"/> 皮膚科 | <input type="checkbox"/> 麻酔科 |
| <input type="checkbox"/> 精神科 | <input type="checkbox"/> 病理 |
| <input type="checkbox"/> 外科 | <input type="checkbox"/> 臨床検査 |
| <input type="checkbox"/> 整形外科 | <input type="checkbox"/> 救急科 |
| <input type="checkbox"/> 産婦人科 | <input type="checkbox"/> 形成外科 |
| <input type="checkbox"/> 眼科 | <input type="checkbox"/> リハビリテーション科 |
| <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科 | <input type="checkbox"/> 総合診療科 |
| <input type="checkbox"/> 泌尿器科 | |
| <input type="checkbox"/> その他（具体的に） | |

* 将来的にも、今いる都道府県で長く勤務するつもりである

< 5 : 全くそのとおり ←————→ 1 : 全くそうではない >

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

医学生/医師のキャリア形成と地域医療に関するアンケート

【パート1】統計的処理のための質問（医師）

医師の方への質問です

* 卒後何年目ですか

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| <input type="radio"/> 1年目 | <input type="radio"/> 6年目 |
| <input type="radio"/> 2年目 | <input type="radio"/> 7年目 |
| <input type="radio"/> 3年目 | <input type="radio"/> 8年目 |
| <input type="radio"/> 4年目 | <input type="radio"/> 9年目以上 |
| <input type="radio"/> 5年目 | |

* 現在の勤務先はどちらですか

- 診療所
- 200床未満の病院
- 200床以上の病院
- 大学病院
- その他 (具体的に)

* 勤務先はどのような場所ですか

- 大都市およびその近郊
- 地方都市およびその近郊
- へき地や離島
- それ以外

* あなたは地域卒卒業生ですか、自治医大卒業生ですか

- 地域卒卒業生
- 自治医大卒業生
- 未回答

* 出身の都道府県は

* 性別は

- 男性
- 女性
- その他
- 未回答

* 家族は

- 既婚
- 未婚
- その他
- 未回答

* 子どもは

- いる
- いない
- 未回答

* 実家やパートナー（配偶者等）の家が開業医である

- 開業医である
- そうではない
- 未回答

将来進みたい診療科は（複数回答可）

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 内科 | <input type="checkbox"/> 脳神経外科 |
| <input type="checkbox"/> 小児科 | <input type="checkbox"/> 放射線科 |
| <input type="checkbox"/> 皮膚科 | <input type="checkbox"/> 麻酔科 |
| <input type="checkbox"/> 精神科 | <input type="checkbox"/> 病理 |
| <input type="checkbox"/> 外科 | <input type="checkbox"/> 臨床検査 |
| <input type="checkbox"/> 整形外科 | <input type="checkbox"/> 救急科 |
| <input type="checkbox"/> 産婦人科 | <input type="checkbox"/> 形成外科 |
| <input type="checkbox"/> 眼科 | <input type="checkbox"/> リハビリテーション科 |
| <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科 | <input type="checkbox"/> 総合診療科 |
| <input type="checkbox"/> 泌尿器科 | |
| <input type="checkbox"/> その他 (具体的に) | |

* 将来的にも、今いる都道府県で長く勤務するつもりである

<5 : 全くそのとおり ←————→ 1 : 全くそうではない>

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* 現在の研修環境に満足している

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* 専門医取得と地域赴任との兼ね合いで悩んでいる

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

地域での勤務を開始するのは卒後何年目から（の予定）ですか

卒後（ ）年目から

地域での勤務は何年間の予定ですか

（ ）年間



医学生/医師のキャリア形成と地域医療に関するアンケート

【パート2】 その1：キャリア形成について

このパートでは、あなたのキャリア形成についてお尋ねします。
各質問について、あてはまる番号を一つ選んでください

5：全くそのとおり ←————→ 1：全くそうではない

* 今の学生生活や医師人生に満足している

5	4	3	2	1	保存わからない
<input type="radio"/>					

* 大学医局に入局している／入局するつもりである

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* 大学の医局長や教授などと定期的に面談する機会がある

月に1回以上ある	年に数回ある	年に1回ある	ない
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 総合診療や家庭医療に興味がある

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* いずれ専門医を取得しようと思っている

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

取得しようと思っている専門医がある方は、以下のうちのどの専門医を取得しようと思っているのか、チェックをつけてください（複数回答可）

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 内科 | <input type="checkbox"/> 脳神経外科 |
| <input type="checkbox"/> 小児科 | <input type="checkbox"/> 放射線科 |
| <input type="checkbox"/> 皮膚科 | <input type="checkbox"/> 麻酔科 |
| <input type="checkbox"/> 精神科 | <input type="checkbox"/> 病理 |
| <input type="checkbox"/> 外科 | <input type="checkbox"/> 臨床検査 |
| <input type="checkbox"/> 整形外科 | <input type="checkbox"/> 救急科 |
| <input type="checkbox"/> 産婦人科 | <input type="checkbox"/> 形成外科 |
| <input type="checkbox"/> 眼科 | <input type="checkbox"/> リハビリテーション科 |
| <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科 | <input type="checkbox"/> 総合診療科 |
| <input type="checkbox"/> 泌尿器科 | |

各質問について、あてはまる番号を一つ選んでください

5: 全くそのとおり ←————→ 1: 全くそうではない

* いずれ博士号（学位）を取得しようと思っている

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* いずれ国内留学をしようと思っている

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

いずれ国内留学をしようと思っている人へ。そのタイミングは

- 20代
- 30代
- 40代
- 50代以降
- わからない

* いずれ海外留学をしようと思っている

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

いずれ海外留学をしようと思っている人へ。そのタイミングは

- 20代
- 30代
- 40代
- 50代以降
- わからない

* いずれ開業しようと思っている

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* 結婚や、結婚のタイミングについて悩んでいる

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* 自分やパートナー（配偶者等）の出産について悩んでいる

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

医学生/医師のキャリア形成と地域医療に関するアンケート

【パート2】 その2：キャリア形成で重視すること

このパートの後半では、あなたがキャリア形成で重視することについてお尋ねします

あなたのキャリア形成を考える上で、以下の項目についてどの程度重視していますか

10：大変重視している ←——→ 1：全く重視していない

* 専門医の取得

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>										

* 地域で勤務するタイミング

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>										

* 地域で勤務する年数

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>										

* 給与

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>										

* 指導医（メンター/ロールモデルとなる人）の存在

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>										

* 研修、研究、留学などのための期間が十分用意されていること

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わから ない
<input type="radio"/>										

* パートナー（配偶者等）の意向

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わから ない
<input type="radio"/>										

あなたの思う地域医療とはどのようなものでしょうか。自由に記してください（自由記載）

下記のどちらかにチェックを入れてください。一般枠の学生はここで回答終了となり、最後のページへジャンプします。

- はい、私は一般枠の学生です
- いいえ、私は一般枠の学生ではありません（地域枠学生/卒業生か、自治医大学生/卒業生です。）

→一般枠学生の方はここで回答終了になります。ご協力ありがとうございました。
地域枠学生/卒業生および、自治医大学生/卒業生の方は引き続きパート3へご回答ください。

医学生/医師のキャリア形成と地域医療に関するアンケート

【パート3】 大学や都道府県の地域枠制度やキャリア形成プログラム

このパートでは、あなたの大学や都道府県の地域枠制度やキャリア形成プログラムについてお尋ねします。
各質問について、あてはまるものを一つ選んでください。

* どの都道府県の地域枠ですか

ここからは、以下の5段階でお答えください

5: 全くそのとおり ←————→ 1: 全くそうではない

* 地域枠医学生/医師であることに満足している

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* 医学部志望の高校生に、地域枠（自治医大）を勧めたいと思う

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* 学生時代の、地域枠向けに特化して提供された教育や活動に満足している

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* 都道府県あるいは地域医療支援センターの担当者と定期的に面談する機会がある

月に1回以上ある	年に数回ある	年に1回ある	ない
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 大学の地域枠担当教員と定期的に面談する機会がある

月に1回以上ある	年に数回ある	年に1回ある	ない
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 義務年限を最後まで終了するつもりである

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* 従事する診療科の制限について

- 診療科の制限はなく、選択した診療科の医師として勤務する
 診療科に一定の制限があり、それ以外の診療科について研鑽を積む機会はない
- 診療科の制限はないが、選択した診療科以外の医師として勤務する期間がある
 わからない
- 診療科に一定の制限があるが、それ以外の診療科に空いて研鑽を積む機会がある

5: 全くそのとおり ←————→ 1: 全くそうではない

* キャリア形成プログラム（あるいはキャリアプラン等の名称で都道府県や大学が作成している地域枠用の配置指針）の存在を知っている

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* キャリア形成プログラム（あるいはキャリアプラン等の名称で都道府県や大学が作成している地域枠用の配置指針）の詳細について、情報提供を受けている

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* キャリア形成プログラム（あるいはキャリアプラン等の名称で都道府県や大学が作成している地域枠用の配置指針）の内容は、義務とキャリアのバランスがきちんととれたものになっていると思う

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* キャリア形成プログラム（あるいはキャリアプラン等の名称で都道府県や大学が作成している地域枠用の配置指針）を地域枠（自治医大）の後輩にも勧めたいと思う

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* これまでに修学資金を返還しようと思ったことがある

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* 地域枠等入学に課せられた義務（入学の条件）の離脱は社会的・道義的に問題だと思う

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

* 将来的に義務を離脱する可能性がある

5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>					

ここからはキャリア形成プログラムへの満足度についてお尋ねします

10段階でお答えください

10 : 大変満足している ←————→ 1 : まったく満足していない

* 専門医の取得

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>										

* 地域で勤務するタイミング

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>										

* 地域で勤務する年数

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>										

* 給与

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>										

* 指導医（メンター/ロールモデルとなる人）の存在

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>										

* 研修、研究、留学などのための中断期間が十分用意されていること

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>										

* パートナー（配偶者等）の意向

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>										

*（キャリア形成プログラムの）総合評価

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	わからない
<input type="radio"/>										

医学生/医師のキャリア形成と地域医療に関するアンケート

【パート4】都道府県の地域枠制度やキャリア形成プログラムについて思うこと

このパートは、自由記載の項目となります。各質問について、回答を記載してください。

あなたの思う地域枠とはどのようなものですか（自由記載）

地域枠制度について、満足していることを教えてください（自由記載）

地域枠制度について、不満に思うことがあれば教えてください（自由記載）

修学資金の返還を考えたことがある人は、その理由について教えてください（自由記載）

キャリア形成プログラムについて、高く評価している点があれば教えてください（自由記載）

キャリア形成プログラムについて、不満に思っている点があれば教えてください（自由記載）

医学生/医師のキャリア形成と地域医療に関するアンケート

最後のページです

なお、より深い検討を目的に、今後、数名の方へ追加のインタビュー調査を計画しております。

「インタビュー調査に協力してもよい」という方は、下欄にチェックをつけるとともに、連絡先として今後も当面変わらないであろうメールアドレスをご記入ください。

インタビュー調査への協力意向

インタビュー調査に協力してもよい

メールアドレス（協力意向のある方のみ記入）

また、数年後に医師の地域分布等に関する追跡調査を予定しております。

追跡調査に協力してもよいとお考えの方は、以下についてもお答えください（協力できない場合には、空欄のままでかまいません）

追跡調査への協力意向

以下のメールアドレス（おそらく今後も使い続けられるメールアドレス）に調査票を送付することに合意する

メールアドレス

追跡調査への協力意向

医師届け出情報を用いた調査のために、医籍登録番号を提供することに合意する

医籍登録番号

以上で質問は終わりです。送信ボタンを押して調査を完了してください。ご協力ありがとうございました。